

## 【伊藤総領事メッセージ 2018年2月】

2018年が始まり、早くも1ヶ月がたちました。1月中は、様々な日本関連団体による新年会や初釜などに参加させて頂きましたが、日本から遠く離れたトロントにおいても日本のお正月の気分を味わえるように、和食の提供をはじめ様々な工夫が凝らされていることが多く、主



催者や参加者の皆様の努力に感服いたしました。特にトロントの日系文化会館で行われた新年会では、ロビーに特設された神社での初詣・おみくじの他、今では日本でもなかなか見られなくなった餅つきや獅子舞、書き初めの展示、お屠蘇の振る舞いなどもあり



ました。チケットを購入して来場された方々に加えボランティアとして行事を支えられた方々を加えると約2000名が集まったとのことですが、子供達もたくさん来ており、本当に心が明るくなる会でした。



当地における日加修好90周年を記念した行事も、1月7日の「バンクーバーの朝日」の映画上映会を皮切りに始まりました。少なくとも毎月1件は記念行事が行えるべく、総領事館館員は準備を引き続き進めるとともに、新たな行事の仕込みもしています。文化行事に限らず、講演会やシンポジウム等も記念行事になりますので、私自身もオンタリオ州内のいろいろな場所に出かけていき、政治家、経済人、学生等を問わず様々な方々に日本について話す機会を増やしていきたいと思っています。「ここに来て話をしてくれないか」というご希望があれば、御遠慮なく総領事館にご相談ください。

さて、1月23日、カナダを含む11カ国がCPTPPの協定文が確定され、3月8日の署名に向けて準備が進められることが発表されました。日本とカナダを含むアジア太平洋地域において、レベルの高い自由貿易エリアが出来ることは画期的であり、日本とカナダの双方にとって市場アクセスが拡大されることとなります。CPTPPが早期に発効し、この新たな枠組の下でオンタリオ州と日本との間の経済交流が一層活発化することを強く期待しています。

寒さが厳しいトロントの冬には、こちらから会談の要請を申し入れると米国

や中南米で「休暇中」という回答がよくあります。特にお子さんの学校の問題がない年配の方々は、休暇シーズンではなくとも休暇をとって「避寒」されることが多いようです。このようなカナダの Snowbird の方々が「日本で温泉



に行ってきた」「沖縄の美しい海で癒やされてきた」「日本でスキーと食事を満喫してきた」と言って頂けるように、冬の対日観光促進にも努めていきたいと思っています。昨年、日本でミス・インターナショナルの世界大会が開催されたことから、各国を代表して訪日した「ミス・●●」はビジット・ジャパン・キャンペーンの特別大使に任命されています。

ミス・カナダである Marta Magdalena Stepien さんもその一人です。昨年、日本を訪問した外国人は 2800 万人を超えましたが、その中でカナダ人は 306,000 名です。最近では日本での外国人受け入れ体制も改善が進み、民泊の導入やインターネットを通じた事前の宿泊予約なども広がってきました。スマートフォンでの地図案内や翻訳機能で、外国人の日本旅行は一段と楽しみやすくなってきています。ミス・カナダの協力も得て、今年はその数をさらに伸ばし、日本国内での訪問先も多様になるべく、力を入れていきたいと思っておりますので、皆様もお友達に日本での避寒ツアー、地方ツアーをおすすめください。

